

支出項目	資料購入費
------	-------

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	私 証 明 書 番 号
1	4月30日	議員必携第11次改訂新版購入費	黒滝書店	3,080	1	
月 小 計				3,080		

領 収 書 貼 付 用 紙

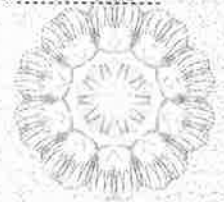
支 出 項 目	資料購入費	領収書番号	1
---------	-------	-------	---



No. _____

坂本 宗 様

金額	億	千万	百万	拾万	万	千	百	十	円
					7	3	0	8	0



ご入金種別

現金 ¥
小切手 ¥
銀行込 ¥
相殺 ¥
約手 ¥
為手 ¥

内訳 議員必携

税抜金額 ¥

消費税額(%) ¥

2年4月30日 上記金額領収いたしました

〒036-8183 弘前市品川町一

黒 滝 書 店
米 澤 京 子

TEL (0172) 32-4011・FAX (0172) 36-8343

取扱者印

シチセイH140

※領収責任者及び取扱者印のないもの
金額を訂正したものは無効です

--	--

支出目的・内容	議員必携第11次改訂新版購入費
---------	-----------------

備 考

--

請求書 _____ 年 月 日 No. _____

〒036-8183 弘前市品川町一

坂本 崇 様 黒 滝 書 店
米 澤 京

下記のとおり御請求申し上げます TEL (0172) 32-4011 FAX (0172) 36-8343

税込合計金額		税率	消費税額等			
¥3080		%				
品名	数量	単価	金額 (税抜 税込)		摘要	
議員必携 第11次改訂新版	1			3080		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
合計						

支出項目	研修費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 証明書 番号
1	9月16日	坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会開催案内用はがき購入費	公益社団法人弘前観光コンベンション協会	6,426	2	
2	9月28日	坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会開催に係る施設使用料	弘前市長	21,480	3	
月 小 計				27,906		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	2
---------	-----	-------	---

領 収 証

№ 001378

令和 平成 2 年 9 月 16 日

坂本 崇 様

一 金 6426 円也

印紙税法通達
17-22条に
より収入印紙
の貼付免除

(内消費税及び地方消費税 円)

但し ハガキ代 (83 × 102枚) として
上記の金額正に領収しました

公益社団法人 弘前観光コンベンション協会

〒036-8588 弘前市下白銀町2番地1 (弘前市立観光館)
TEL:0172-35-3131(代) FAX:0172-35-3132

取扱者印



支出目的・内容	坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会開催案内用はがき購入費
---------	--------------------------------

備 考

購入枚数：102枚
成果品 1 枚添付

坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会のご案内

初秋の候 皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、下記により、坂本たかし初の単独議会報告会と、まちづくりについて一緒に「学び」「考える」勉強会を開催することとなりました。

ご多用中のことと存じますが、お時間がございましたら、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

2020年9月吉日

弘前市議会議員 坂本たかし

記

- ◆日 時 9月26日(土) 15時～17時
- ◆会 場 弘前市立観光館1F 多目的ホール
- ◆内 容 第1部：議会報告会(15時～15時50分)
第2部：まちづくり寺子屋(16時～17時)
テーマ「観光と経済」
- ◆お申込 事前にお電話にてお申込ください。
080-6030-5612 (坂本崇携帯電話)

今回はコロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスの観点から、お申込先着順に定員を80名様とさせていただきます。ご参加の場合は、お早めにお申込くださいますようお願いいたします。

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	3
別紙のとおり			
支出目的・内容	坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会開催に係る施設使用料		
備 考			

036-8062
弘前市青山4-3-6

坂本 崇
坂本 崇

様

納入通知書兼領収書			
(<input type="checkbox"/> 証券等払込書兼領収書)			
2020 第 KAN 号 36	036-8062 弘前市青山4-3-6		
	坂本 崇 坂本 崇		
納入 目的			
年度	令和2年度	会計	一般会計
所属	090100	:観光課	
款 項 目	15	:使用料	
	01	:使用料	
	05	:商工使用料	
節 細節	01	:商工使用料	
	010-01	:商工使用料 (観光館使用料)	
金額	21,480 円		
<p>上記の金額を令和 年 月 日 までに弘前市 指定金融機関 に納入してください。</p> <p>指定代理金融機関 収納代理金融機関 出 納 員</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>弘前市長</p>			
領収書	<p>領収日付印</p> <p>青森県弘前市 弘前市役所出納所</p> <p>2. 9. 28</p> <p>出 納</p> <p>1</p>		
<p>上記の金額を領収しました。</p> <p>令和 年 月 日</p>			

青森県弘前市

弘前市立観光館
使用許可書

1/1

弘観許可

第 13 号

令和2年 9月 25日

団体名 坂本 崇

納入通知番号 2020-KAN-36

所在地 弘前市青山4-3-6

代表者氏名 坂本 崇様

TEL 0172-34-8798

申請者住所 弘前市青山4-3-6

氏名 坂本 崇様

TEL 0172-34-8798

弘前市指定管理者
公益社団法人弘前観光コンベンション協会
会長 三上千春

下記のとおり使用を許可します。


会場の名称		弘前市立観光館					
使用目的		坂本たかしと「津軽弘前」を共に考える会			使用人数		大人 80人 小人 0人 計 80人
使用施設	使用月日	施設・備品	個数	使用時間	使用料金	加算減免額	合計
	9月26日(土)	●多目的ホール	-	12:00 } 17:00	6,230円	0円	6,230円
	9月26日(土)	●ミキサー・アンプ (●多目的ホール)	1	12:00 } 17:00	1,800円	0円	1,800円
	9月26日(土)	●メインスピーカー (●多目的ホール)	1	12:00 } 17:00	1,820円	0円	1,820円
	9月26日(土)	●ワイヤレスマイクロホン (●多目的ホール)	3	12:00 } 17:00	2,970円	0円	2,970円
	9月26日(土)	●電動スクリーン (●多目的ホール)	1	12:00 } 17:00	2,320円	0円	2,320円
	9月26日(土)	●電気料 (kw/個) (●多目的ホール)	1	12:00 } 17:00	110円	0円	110円
	9月26日(土)	●多目的ホール	-	17:00 } 22:00	6,230円	0円	6,230円
使用料		施設・備品	21,480円		使用料合計 21,480円		
		加算減免額	0円				
		合計	21,480円				
その他参考事項							
受付年月日	令和2年 9月 25日	受付者	[Redacted]			No.	36

令和3年 3 月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番号	払 証明書 番号
1	3月29日	広報誌 別納郵便料 区内特別 @73円×1,193通 第一種 @84円×107通	日本郵便株式会社	96,077	4	
2	3月30日	送付状 印刷代 @10円×1,300部	公益社団法人弘前観光コンベンション協会	13,000	5	
13	3月30日	広報誌及び封筒 印刷代 広報誌 @44円×2,000部 封筒 @22円×2,000部 デザイン料 22,000円 (令和3年3月26日発行 議会報告 2021春号)	ITラボ株式会社	154,000	6	
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				263,077		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	4
<div style="text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">領収書</h2> <p style="margin: 5px 0;">坂本 崇 様</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <p>[別納引受] 区内特別基 (定) 21.5g @73 1,193通 ¥87,089</p> <p>小 計 ¥87,089</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <p>第一種定形 21.5g @84 107通 ¥8,988</p> <p>小 計 ¥8,988</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <p>郵便物引受合計通数 1,300通 課税計 (10%) ¥96,077 (内消費税等 ¥8,734) 非課税計 ¥0</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <p>△合計 ¥96,077 お預り金額 ¥100,000 おつり ¥3,923</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 印紙税申告納 付につき廻町 税務署承認済 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 取扱日時：2021年 3月29日 15:54 担当：[REDACTED] 発行No. 210329A1666 端N67箱11 連絡先：弘前郵便局 TEL:0570-943-397</p> </div>			
支出目的・内容	広報誌 郵便料		
備 考			
別納郵便料 区内特別 @73円×1,193通 第一種 @84円×107通 計 96,077円			

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	5
---------	-----	-------	---

領 収 証

№ 020164

2021年 3月30日

坂本 崇 様

一 金 13,000円也

印紙税法通達
17-22条に
より収入印紙
の貼付免除

(内消費税及び地方消費税 円)

但し 送付状工賃1300枚として
上記の金額正に領収しました

公益社団法人 弘前観光コンベンション協会

〒036-8588 弘前市下白銀町2番地1(弘前市立観光館)
TEL:0172-35-3131(代) FAX:0172-35-3132

取扱者印

支出目的・内容	送付状 印刷代
---------	---------

備 考

10円×1,300部

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	6
---------	-----	-------	---

領 収 証 坂本 崇 様 No. _____

★ ¥154,000-

但 市議会「エッセイ」代・封筒印刷代として

2021 年 3 月 30 日 上記正に領収いたしました



コクヨ ウケ-1097

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

〒036-8093 青森県弘前市城東中央2-1-18 2F

ITラボ株式会社

代表取締役 新山 則和

☎ 0172-26-6214

☎ 0172-26-6215

支出目的・内容	広報誌、封筒 印刷代
---------	------------

備 考

広報誌 @44円×2,000部
 封筒(長3) @22円×2,000部
 デザイン料 22,000円
 (令和3年3月26日発行 議会報告2021春号)

請求書

坂本 崇 御中

振込先

ITラボ株式会社
アイティーラボ(カ)

備考

IT-labo.

ITラボ株式会社
〒036-8093
青森県弘前市城東中央2-1-18
TEL: 0172-26-6211
FAX: 0172-26-6215

請求書番号: 2021033011
請求日: 2021/03/27
お支払期限: 2021/04/30

件名: 印刷物制作

小計	消費税
140,000 円	14,000 円

ご請求金額
154,000 円

品目	単価	数量	価格
市議会だより印刷	40	2,000	80,000
封筒印刷	20	2,000	40,000
デザイン料	20,000	1	20,000

内訳 10%対象

140,000円
消費税 14,000円

〒

様

市議会だよりの送付について

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび「坂本崇市議会だより議会報告2021春号」を発行いたしましたのでお送りいたします。ぜひ、ご高覧の上、ご意見、ご感想などをお聞かせいただけましたら幸いです。

今後ともよろしく願いいたします。

敬具

令和3年3月29日

弘前市議会議員

坂本 崇

〒036-8062

青森県弘前市青山4丁目3-6

電話 FAX 0172-34-8798

メール t.sakamox@gmail.com



弘前市議会議員(無所属)

坂本 崇

市議会だより

議会報告
2021
春号



弘前市役所前庭 ラッパを吹く少年「希望の奏」像

弘前市議会一般質問の項目(令和2年6月~令和3年3月)

◆令和2年第2回定例会(令和2年6月)

1. コロナ禍の観光振興について

◆令和2年第3回定例会(令和2年9月)

1. コロナウイルス感染症対策について
(1) 商店街等の歩道活用について
2. 弘南鉄道の整備技術の活用について

◆令和2年第4回定例会(令和2年12月)

1. コロナウイルス感染症対策について
(1) 新しい生活様式推進の取組について
(2) 今後のまつりについて

◆令和3年第1回定例会(令和3年3月)

1. スポーツコミッションについて
2. 津軽氏ゆかりの5市町による交流について
3. 広域観光連携について

コロナ禍の観光振興について（令和2年6月一般質問）

Q: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、当市においてはさまざまな業種、特に、弘前さくらまつり、弘前ねぶたまつりの中止による観光関連業界に大きな影響を与えている。このコロナ禍での今後の取組について問う。

A: 中止を決定した弘前ねぶたまつりについては、「合同運行」と「なぬかびおくり」の代わりに、ねぶた絵師やねぶた団体などの協力により、7月下旬から約1ヶ月間市役所本庁舎、公共施設、商店街に灯籠や金魚ねぶたの飾り付けを行い、ねぶた文化の継承・振興を図っていきます。また、社会経済活動の回復に向けた段階的緩和の目安を参考に、まずは

市内や県内など近場の観光客を取り込む取組を積極的に進める必要があると考えています。新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、市民や近隣住民の体験機会や交流を深め、地域の良さを再確認や地域の魅力をつくる観光地域づくりを進め、市内宿泊事業者や旅行事業者など関係機関と連携して、観光キャンペーンや情報発信の準備を進めていきます。



弘南鉄道の整備技術の活用について（令和2年9月一般質問）

Q: 弘南鉄道は、旧型車両の整備に必要な車輪の焼きばめ技術を受け継ぐ国内でも数少ない鉄道会社である。この整備技術が注目され、全国からの受注が増えれば、新たな収益を見込め、長引く赤字の解消の一筋の光明となればと期待するところである。このことについて市の見解を問う。

A: 弘南鉄道は、東急電鉄の旧型ステンレス車両を長年にわたり運行していることが大きな特徴の一つであり、その車両の懐かしさから車両を目当てに訪れる鉄道ファンも相当数いると伺っております。それを支えているのはさまざまな鉄道設備の補修や修繕を地道に行っている技術力と人材であります。技術が評価され、外部から業務を請け負うことは、大きな収入源となるだけでなく、弘南鉄道の技術力の信頼性が高まり、今後の更なる受注や、企業イメージの向上にもつながることも期待される所です。弘南鉄道は、地域住民、特に学生や高齢者などにとってなくてはならない生活の足であります。また、先人たちの大きな志と熱意、鉄路を守り抜こうとする鉄道マン達の使命感、技術力、そして、たゆまぬ努力によって今日まで引き継がれてきたものであります。市といたしましても、地元住民や観光客が、この先人たちから受け継いだ財産に触れる機会を作るなど、地元住民の弘南鉄道に対す



る愛着心の醸成のほか、貴重な観光資源として活用することにより、地域の活性化及び観光の振興につながるよう、弘南鉄道株式会社とともに、国や県の協力を得ながら関係市町村や各種団体等と連携して取り組んでまいります。

Q: 長年地方の交通を支えた弘南鉄道の整備技術を観光資源とすることは、ものづくりの精神や、日本伝統の優れた技術に触れる貴重な機会となる。観光資源として、今後どのような活用を考えているか？

A: 弘南鉄道株式会社としても、今後は、見学ツアーなどを実施し、地元住民はもとより、観光客の誘客にも取り組んでいく考えております。またツアーの内容として、見学だけでなく、普段見ることができない車両の底に潜って整備作業を体験できる体験型ツアーの検討や、ツアーの案内役の人材育成などにも取り組んでいきたいという話を伺っております。



弘前藩忍者〈早道之者〉ゆかりの古民家 保存決まる！

令和元年9月議会の一般質問で取り上げた解体の危機に瀕していた弘前藩忍者〈早道之者〉ゆかりの建物と思われる古民家を弘前市職員が購入。今後、観光スポットとして保存活用していくことが決まりました。

弘前藩忍者〈早道之者〉は、蝦夷地の監視役を幕府から命ぜられた弘前藩が甲賀忍者の中川小隼人を召し抱え結成されました。その詰め所は、移転を経て1735年ごろに現在地に移ったとされ、一度は解散し屋敷は取り壊されましたが、5年後に再び結成された際に再建。現在の建物が当時のものかは不明ですが、江戸時代後期～幕末のものと考えられ、忍者部隊の活動拠点として現在まで残るものとしては国内唯一と考えられています。今後は見学ツアーを開催しながら補修を進め、将来、民泊施設として宿泊体験ができるように整備していくそうです。これを機に謎の多い弘前藩忍者の調査研究が今後更に深まることを期待いたします。

コロナウイルス感染症対策について（令和2年12月一般質問）

Q: 10月に発生した市内飲食店を起点とするクラスターが市民をはじめ他の飲食店や多くの事業者にもたらした、経済的、心理的な影響は非常に大きい。その心理的不安を払拭するため、新型コロナウイルスそのものの知識と感染症対策である「新しい生活様式」を、今一度一人一人が認識し、正しく恐れ、この難局に立ち向かっていく必要があると考える。新型コロナ感染症対策である「新しい生活様式」を市民に定着させるため、市では今後どのように啓発に取り組んでいくのか？

A: 新型コロナウイルス感染症とその対策を市民に周知するため、国内での感染状況を踏まえ、新たに得られた知見に基づき、国や県等が発する情報を広報ひろさきをはじめ、市のホームページやリーフレットの毎戸配布などにより、周知に努めていきます。11月23日開催の「飲食店向けの新型コロナウイルス感染予防対策研修会」については、参加した方々から高い評価をいただいております。日程等の都合により参加できなかった飲食店、飲食店以外の接客業の方々、市民の皆様に対しても、当日の様子をネット上に公開し、啓発に努めていきます。

スポーツ・コミッションについて（令和3年3月一般質問）

Q: 近年、全国各地で地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となって組織された「地域スポーツコミッション」が設立され、スポーツを通じた地域振興の中心的存在として活動している。

当市においても、弘前市スポーツ推進計画の基本施策の中で、重点的な取り組みの一つとして、地域スポーツコミッションの設立に向け体制づくりを進めることとしてあるが、スポーツコミッションの役割とは？ また地域にどのような効果をもたらすのか？

A: スポーツコミッションは、スポーツへの参加や観戦を目的とした旅行やスポーツと観光を組み合わせた取組である「スポーツ・ツーリズム」や、地域外から参加者を呼び込む

「地域スポーツ大会、イベントの開催」、国内外の大規模な「スポーツ大会の誘致」、プロチームや大学などの「スポーツ宿泊・キャンプの誘致」などによる地域活性化を目的としており、国ではスポーツによる持続的まちづくり・地域活性化を目指し令和3年度末までに170団体の設置を目標にしています。市としては、「地域スポーツ人口・関心層の拡大」、「季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定」などの社会的効果や、「合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る宿泊・飲食・観光・物販などの消費」、「スポーツアクティビティの参加料収入」などによる経済効果が期待できると考えており、現在設置について慎重に検討しております。

津軽氏ゆかりの5市町による交流について（令和3年3月一般質問）

Q: 昨年の10月に、弘前藩主・津軽家の祖で南部氏の一族だった戦国時代の武将大浦光信公が現在の鱈ヶ沢町重里町に入部して530年を迎え、この節目に当たって、鱈ヶ沢町の日本海拠点館あじがさわで開かれた記念行事で、光信公とその祖先、子孫を通じてゆかりがある弘前、黒石、秋田県横手、岩手県久慈の4市と鱈ヶ沢町の首長らが「歴史文化で結ぶ交流」を宣言、歴史的つながりを後世に引き継ぎ、交流の輪を広げることを確認したが、今後の交流について問う。

A: 今後の予定といたしまして、令和3年度は久慈市において、5市町の交流事業が行われることが決定しており、以後も順次持ち回りで開催していくこととしております。市といたしましても、現在の弘前市のはじまりとされている弘前藩の初代藩主、津軽為信公以前の歴史を紐解き、様々な地域との新たなつながりや関わりが見えてきたことにより、この交流から津軽氏の歴史をキーワードとした新たな旅のスタイルが生まれることを期待しております。

広域観光連携について（令和3年3月一般質問）

Q: 新型コロナウイルスの影響により、インバウンド、首都圏等からの観光客の往来が平常に戻るまでには時間がかかることが懸念される。弘前市では近郊の自治体等と様々な広域観光連携を結んでおり、今こそその連携を駆使し、互いの地域に観光客を送り込む施策を講じ、助け合いながらそれぞれの地域の経済を循環させていくべきと考えるが、このことについて市の考えを問う。



A: 令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいくものと思われませんが、観光面においては、回復にまだしばらく時間がかかることが予想されることから、隣接する県や圏内での誘客、地元や近隣の市町村への観光などマイクロツーリズム（小旅行）を積極的に推進していく必要があると考えております。それぞれの地域で磨き上げた観光コンテンツを広域的に結び付け、周遊していただくことなどにより、相互に観光振興を図り、さらに経済効果を高めることにつなげられるものと考えております。今後は、関係市町村や関係機関、DMOなどとの連携を強め広域観光の振興に取り組んでまいります。

◆ 議会報告会を開催しました ◆ 「坂本たかしと津軽弘前を共に考える会」

2020年9月26日(土)弘前市立観光館にて、個人で初の議会報告会を開催いたしました。



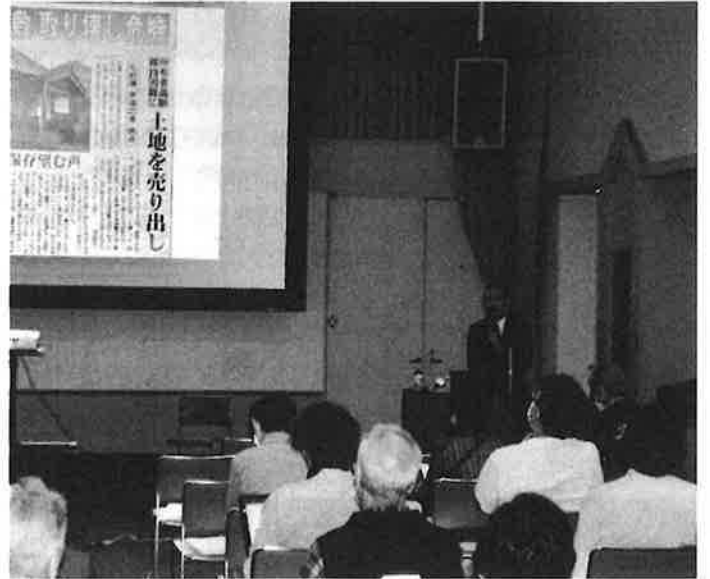
報告会は2部制で、第1部でこれまでの私の一般質問を振り返りながら議会報告を行い、第2部であおもり創生パートナーズ株式会社の地域デザイン部長

・松田英嗣氏をゲストにお迎えし、「観光と経済」をテーマにご講演いただき、来場された皆さんと意見交換を行いました。

今後さまざまなテーマで津軽弘前を共に考える機会を設けていきます。



ゲストの松田英嗣氏



コロナウィルス感染症対策として、受付時に検温し、また会場の座席の間隔を空けて開催いたしました。約60名の方々にご参加いただきました。

「観光と経済」

昨年10月、青森銀行グループのコンサルティング会社「あおもり創生パートナーズ」は、県内の市町村別に観光で稼ぐ割合を県平均と比較して位置付ける「観光特化係数」を算出いたしました。それによると、弘前市は第9位で、10位以内に津軽地方の5市町がランクインいたしました。この結果からもわかる通り、弘前市をはじめとする津軽地方は、観光で稼ぐ割合の高い地域であります。観光特化係数が上位の地域は、平常時は観光資源が豊富であるということが、その地域の経済を支える「強み」になりますが、現在のコロナ禍のような状態が長引けば地域経済にマイナスの影響を及ぼします。

毎年多くの観光客で賑わう「弘前さくらまつり」による経済効果は512億円といわれており、新型コロナウイルスの影響による昨年のさくらまつりやねぶたまつり等の中止は、観光を得意とする優位性が封じられ当市の経済に大きな打撃を与えました。

このように多くの観光資源を持つ弘前市にとって、「観光」はとても重要な「産業」であり、市民生活とも密接につながっています。

観光産業といえば、とりわけ宿泊業や観光施設などをイメージしますが、それだけではありません。観光客は訪問先の地域の中で買い物をしたり、食事をしたり、宿泊施設に泊まったりと、様々な行動をします。そのため飲食業や小売業、運輸業など地元住民の利用率の高い産業であっても、観光客から収入を得ていればそれらはすべて観光産業と言えます。さらには、土産品や飲食などの原材料生産まで含めて考えると、農業や漁業、製造業なども間接的に観光客から収入を得ており、「観光」は広範囲に渡って地域経済を回す大事な収入源になっています。

長引くコロナ禍にあって、社会経済活動と感染拡大防止の両立は難しい局面を迎えています。観光地「弘前」「津軽」が生き延びるためには、県内、隣県を商圏とした小旅行の推進や、三密を避けるサービスの創出等、感染リスクと経済的ダメージを抑える知恵と工夫が今求められています。



その他の政務活動



岩木山のゴミ拾い活動「岩木山エコプロジェクト」に参加(2020.7.19)



地元大学生と陸軍第八師団施設跡地を訪ねるフィールドワークに参加(2020.9.24)



弘前市防災訓練視察(2020.9.30)



弘前市議会だより編集特別委員会正副委員長編集打ち合せ(2021.3.15)



弘前市議会議員(無所属)

坂本崇 市議会だより 議会報告 2021 春号

発行者:坂本 崇

発行日:令和3年3月26日

連絡先:〒036-8062 弘前市青山4-3-6

☎080-6030-5612

〈この市議会だよりは弘前市議会政務活動費の交付に関する条例第五条の規程に基づいて作成しております〉

